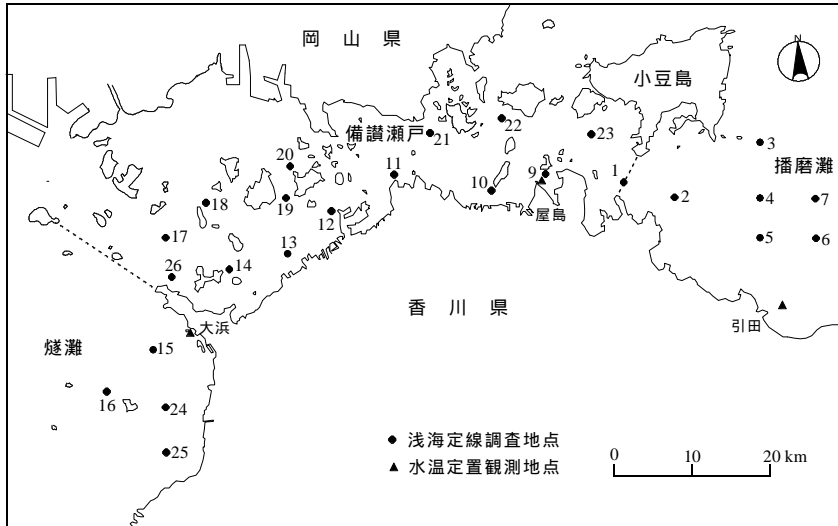


香川県漁海況速報 平成18年 2月 (H17-11号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成18年2月2日(播磨灘), 1日(備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや低めから平年並み」、塩分は「やや高め」、透明度は「かなり低めから平年並み」、溶存酸素は「平年並みからかなり高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	8.6	8.5	8.5	33.1	33.1	33.2	6.5	6.46	6.44
	平年値	9.3	9.3	9.2	32.7	32.7	32.8	8.9	6.42	6.35
	平年偏差	-0.7	-0.7	-0.7	0.4	0.4	0.4	-2.4	0.04	0.09
	状況	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや高め	やや高め	かなり低め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	9.1	9.1	9.1	33.3	33.3	33.4	4.7	6.75	6.74
	平年値	9.1	9.1	9.1	32.8	32.8	32.8	6.0	6.38	6.38
	平年偏差	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5	0.5	-1.3	0.37	0.36
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	9.6	9.7	9.7	33.3	33.5	33.5	7.9	7.04	6.83
	平年値	9.9	9.9	9.9	33.0	33.0	33.1	7.5	6.52	6.47
	平年偏差	-0.3	-0.2	-0.2	0.3	0.5	0.5	0.4	0.52	0.36
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	かなり高め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

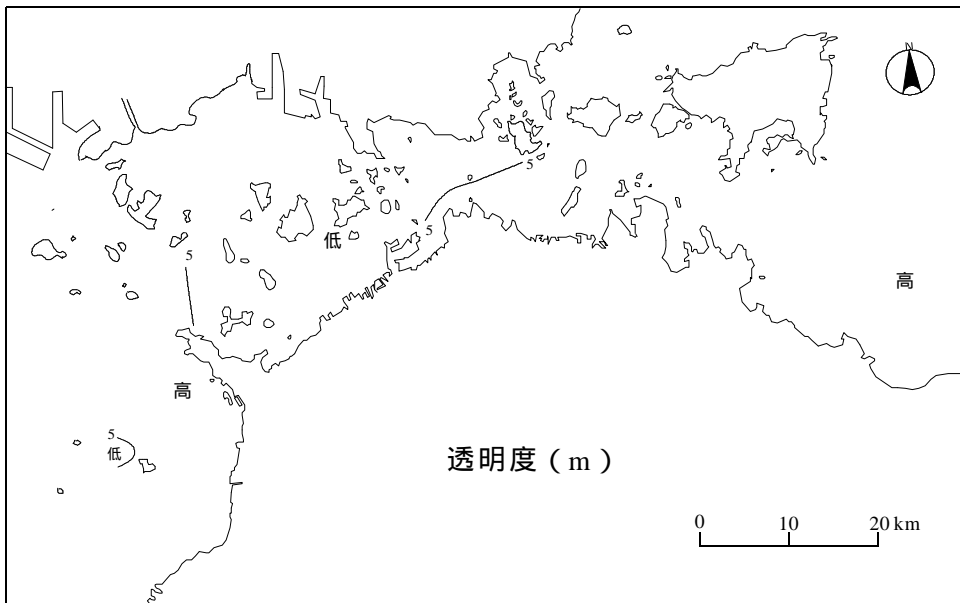
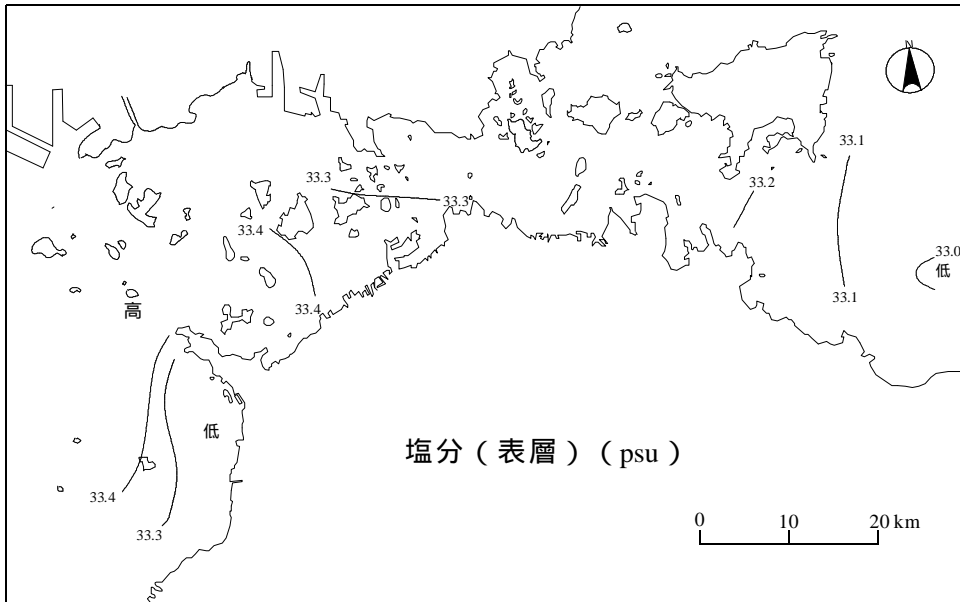
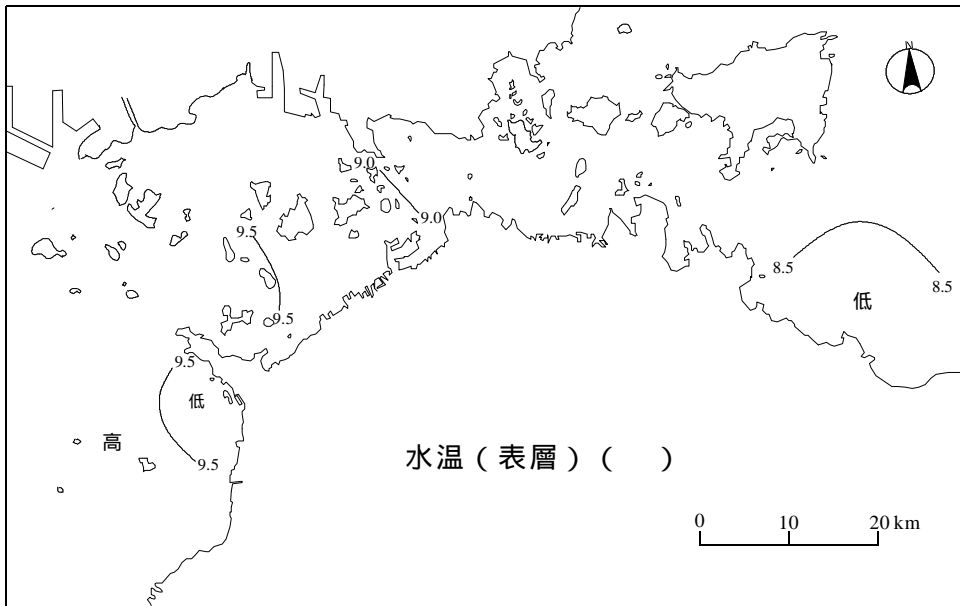
平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和48年(1973)1月~平成13年(2002)12月

溶存酸素: 昭和48年(1973)2月~平成13年(2002)12月

水温は, 毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



2) 定置観測(水温)

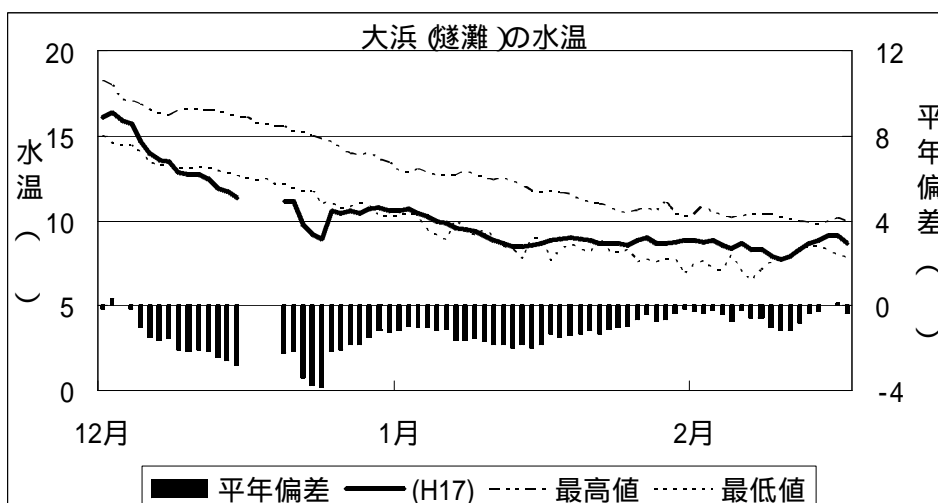
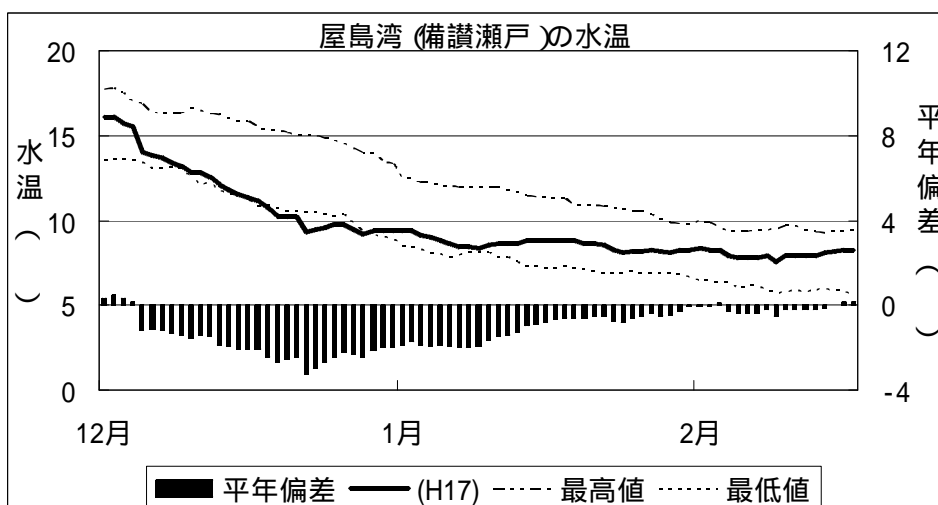
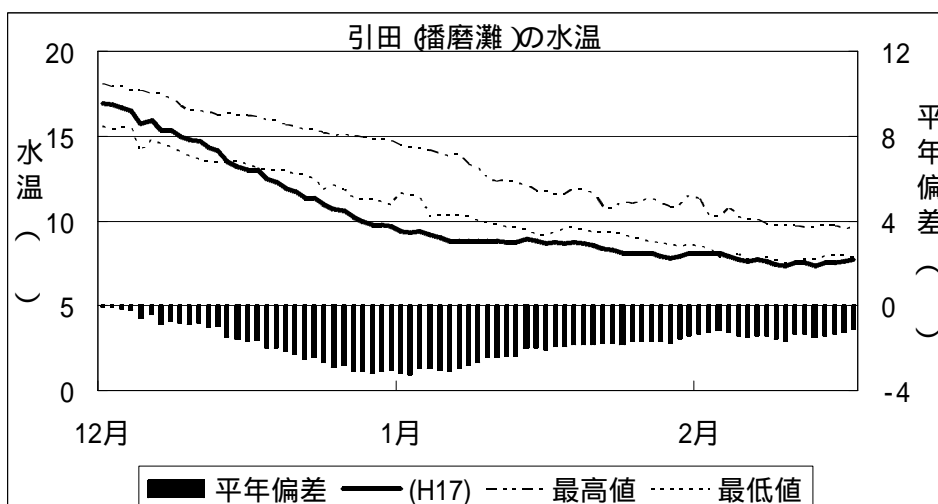
播磨灘(引田): 1月上旬には年平均偏差が - 3.3 近くまで低下していたが、その後偏差は小さくなり2月には - 1.5 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 1月上旬は年平均偏差が - 1.9 前後で推移していたが、中旬から偏差は小さくなり、下旬には平年値となった。2月に入っても平年値前後で推移している。

燧灘(大浜): 1月上旬は年平均偏差が - 1 前後であったが、中旬には - 2 程度になり、下旬には平年値に近づいた。2月に入ると平年値から - 1.2 程度に偏差が大きくなった後再度小さくなり平年値前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成16(2004)年

屋島: 昭和50(1975)~平成16(2004)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成18年2月2日（播磨灘），1日（備讃瀬戸，燧灘）

出現量

個（尾）/曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	-	14.29	0.00	0.50
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	-	1.50	0.00	0.60
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	-	1.00	0.00	0.25
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	-	5.00	0.00	0.52

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	0.0%	-	0.0%	-	478.9%
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%	-	63.9%
燧灘平均	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	157.4%
総平均	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	222.1%

- :平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成16（2004）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成16（2004）年度

イカナゴ：昭和55（1980）～平成16（2004）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現量はなかった。

2. 漁況

1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は主にウシノシタ類，小型エビ類が漁獲されているが，全般的に低調である。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，イイダコが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で100～120kg/日・隻と前年並みでサイズは中型～大型貝が多い。 高松沖のイカナゴ込網は，前年より3日早い1月15日からフルセの操業が開始され，1月の漁獲量は158トンで前年の4.8倍と好調であった。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類，マコガレイ，メイタガレイ，フグ類が漁獲されている。 イワシ流し刺網では量は少ないが，マイワシが漁獲されている。